vinetur

Sazerac、Berentzenへの買収提示額を1株6.65ユーロに引き上げ

Sazeracは受け入れ最低条件を撤廃し、買収提示額を当初より19.8%引き上げた。応募期間は12月4日まで

2026年11月20日（金）



Berentzen-Gruppe AGは11月19日木曜日、Sazeracがドイツの飲料会社に対する買収提案の価格を1株5.55ユーロから6.65ユーロに引き上げ、受け入れ最低条件を撤廃し、応募期間を12月4日まで延長したと発表した。

改定後の提示額は、従来の提案を約19.8%上回る。Berentzenによると、従来は発行済み株式の50%に1株を加えた数以上の応募を条件としていたが、これを取り下げた。この変更により、買収提案が不成立となる主な要因の一つが取り除かれた。

今回の変更は、Berentzenの経営権確保に向けたSazeracの攻勢が強まったことを示している。提示

額の引き上げは株主にとって株式を応募する金銭的なインセンティブを高め、受け入れ最低条件の撤廃は提案が実行に移されるかどうかをめぐる不確実性を抑える。12月4日までの期間延長により、投資家は改定後の条件を踏まえて判断する時間を得る。

Berentzenは既存の買収提案に関する発表の中で変更内容を明らかにした。同社は今回の動きを新たな提案とは位置づけず、すでに提示されている買収案の修正と説明した。条件改定により、株主は当初の1株5.55ユーロの提案とは異なるリスクとリターンを踏まえて判断することになる。

Berentzenの投資家にとって、直近の影響は明快だ。買収提案の現金価値が高まり、成立に向けたハードルは下がった。買収案件では、受け入れ最低条件の撤廃は、応募を通じて過半数を確保できなくても買収者が手続きを進める構えであることを示す場合が多い。ただし、最終的な結果は提案の全条件と株主の支持状況に左右される。

この取引は、成立すればドイツの飲料市場の一部を再編する可能性があるため、Berentzenの株主以外にとっても重要だ。Berentzenは蒸留酒をはじめとする飲料分野で長い歴史を持つドイツのメーカーであり、Sazeracによる買収が実現すれば、同国の酒類業界で業界再編が進むとともに、米国企業である同社の欧州での事業基盤が広がる可能性がある。

国際企業が、確立された地元ブランドや販売網を求める動きを続けるなか、飲料業界全体がこの可能性を注視するとみられる。取引が成立すれば、欧州最大級の消費市場の一つでSazeracの存在感が高まり、ドイツや周辺市場で事業を展開する他の蒸留酒メーカーへの競争圧力が強まる可能性がある。